

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (平成 3 0 年 4 月度)

対象期間：平成 3 0 年 4 月 1 日 ~ 平成 3 0 年 4 月 3 0 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	163 (m ³ /月)
汚泥	20 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鉱さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	462 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)

計 645 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取場所		水質検査位置図の通り
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 3 0 年 4 月 4 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率		
塩化物イオン濃度		排水基準値※2 結果
水素イオン濃度		5.8~8.6※3 6.9
生物化学的酸素要求量		60 ー
化学的酸素要求量		90 2.6
浮遊物質質量		60 15
窒素含有量		120 1.1
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日
測定結果	7 8 9 , 2 2 6 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 3 0 年 4 月 1 日	平成 3 0 年 4 月 1 日	平成 3 0 年 4 月 1 日	平成 3 0 年 4 月 1 日
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (平成 3 0 年 5 月度)

対象期間：平成 3 0 年 5 月 1 日 ~ 平成 3 0 年 5 月 31 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	181 (m ³ /月)
汚泥	12 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鉱さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	382 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)

計 575 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取場所		水質検査位置図の通り
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 3 0 年 5 月 7 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率		
塩化物イオン濃度		排水基準値※2 結果
水素イオン濃度		5.8~8.6※3 7.0
生物化学的酸素要求量		60 —
化学的酸素要求量		90 1.6
浮遊物質		60 15
窒素含有量		120 0.9
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日
測定結果	7 8 9 . 2 2 6 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、エ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、エ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 5 月 1 日	平成 30 年 5 月 1 日	平成 30 年 5 月 1 日	平成 30 年 5 月 1 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 3 0 年 6 月度）

対象期間：平成 3 0 年 6 月 1 日 ～ 平成 3 0 年 6 月 3 0 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)	
燃えがら	161	(m ³ /月)
汚泥	19	(m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)		(/月)
廃プラスチック類		(/月)
紙くず		(/月)
木くず		(/月)
繊維くず		(/月)
動植物性残渣		(/月)
動物系固形不要物		(/月)
ゴムくず		(/月)
金属くず		(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		(/月)
鉱さい		(/月)
がれき類		(/月)
動物のふん尿		(/月)
動物の死体		(/月)
ばいじん	408	(m ³ /月)
廃石綿等		(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)

計 588 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等		放流水
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り		水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り		別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1			

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等		放流水	
採取場所			水質検査位置図の通り	
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 30 年 6 月 5 日	
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
電気伝導率				
塩化物イオン濃度			排水基準値※2	結果
水素イオン濃度			5.8～8.6※3	6.8
生物化学的酸素要求量			60	—
化学的酸素要求量			90	1.5
浮遊物質			60	13
窒素含有量			120	1.1
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無		
必要な措置を講じた年月日とその内容※1				

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日		
測定結果	7 8 9 , 2 2 6 m ³		

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 6 月 1 日	平成 30 年 6 月 1 日	平成 30 年 6 月 1 日	平成 30 年 6 月 1 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0～9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 3 0 年 7 月 度）

対象期間：平成 3 0 年 7 月 1 日 ～ 平成 3 0 年 7 月 3 1 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)	
燃えがら	185	(m ³ /月)
汚泥	353	(m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)		(/月)
廃プラスチック類		(/月)
紙くず		(/月)
木くず		(/月)
繊維くず		(/月)
動植物性残渣		(/月)
動物系固形不要物		(/月)
ゴムくず		(/月)
金属くず		(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		(/月)
鋳さい		(/月)
がれき類		(/月)
動物のふん尿		(/月)
動物の死体		(/月)
ばいじん	640	(m ³ /月)
廃石綿等		(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)

計 1,178 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

地下水等		放流水
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

地下水等		放流水	
採取場所		水質検査位置図の通り	
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 30 年 7 月 18 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率			
塩化物イオン濃度			排水基準値※2
水素イオン濃度			結果
生物化学的酸素要求量			5.8~8.6※3
化学的酸素要求量			60
浮遊物質			90
窒素含有量			60
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	120
必要な措置を講じた年月日とその内容※1			

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日
測定結果	7 8 9, 2 2 6 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、エ及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、エ及びチ]

擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 7 月 2 日	平成 30 年 7 月 2 日	平成 30 年 7 月 2 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 30 年 8 月度）

対象期間：平成 30 年 8 月 1 日 ～ 平成 30 年 8 月 31 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)	
燃えがら	131	(m ³ /月)
汚泥	2,073	(m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)		(/月)
廃プラスチック類		(/月)
紙くず		(/月)
木くず		(/月)
繊維くず		(/月)
動植物性残渣		(/月)
動物系固形不要物		(/月)
ゴムくず		(/月)
金属くず		(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		(/月)
鋳さい		(/月)
がれき類		(/月)
動物のふん尿		(/月)
動物の死体		(/月)
ばいじん	1,546	(m ³ /月)
廃石綿等		(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)

計 3,750 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等		放流水
採取日	平成 30 年 8 月 22 日	平成 年 月 日	平成 30 年 8 月 22 日
採取場所	水質検査位置図の通り		水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り		別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1			

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等		放流水	
採取場所			水質検査位置図の通り	
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 30 年 8 月 22 日	
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
電気伝導率				
塩化物イオン濃度			排水基準値※2	結果
水素イオン濃度			5.8～8.6※3	7.2
生物化学的酸素要求量			60	—
化学的酸素要求量			90	3.4
浮遊物質			60	12
窒素含有量			120	0.7
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無		
必要な措置を講じた年月日とその内容※1				

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日
測定結果	7 8 9, 2 2 6 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ヘ及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ヘ及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 8 月 1 日	平成 30 年 8 月 1 日	平成 30 年 8 月 1 日	平成 30 年 8 月 1 日
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0～9.0

水 質 分 析 結 果 [管 理 型] (平成 30年 8月)

水質の区分			地下水
		基準値 (1リットルあたり)	H30.8.23
1	アルキル水銀	検出されないこと	検出せず
2	総水銀	0.0005mg 以下	<0.0005
3	カドミウム	0.003mg 以下	<0.0003
4	鉛	0.01mg 以下	<0.001
5	六価クロム	0.05mg 以下	<0.005
6	砒素	0.01mg 以下	<0.001
7	全シアン	検出されないこと	検出せず
8	ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと	検出せず
9	トリクロロエチレン	0.01mg 以下	<0.003
10	テトラクロロエチレン	0.01mg 以下	<0.001
11	ジクロロメタン	0.02mg 以下	<0.002
12	四塩化炭素	0.002mg 以下	<0.0002
13	1,2-ジクロロエタン	0.004mg 以下	<0.0004
14	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg 以下	<0.01
15	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg 以下	<0.004
16	1,1,1-トリクロロエタン	1mg 以下	<0.1
17	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg 以下	<0.0006
18	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg 以下	<0.0002
19	チウラム	0.006mg 以下	<0.0006
20	シマジン	0.003mg 以下	<0.0003
21	チオベンカルブ	0.02mg 以下	<0.002
22	ベンゼン	0.01mg 以下	<0.001
23	セレン	0.01mg 以下	<0.001
24	1,4ジオキサン	0.05mg 以下	<0.005
25	クロロエチレン	0.002mg 以下	<0.0002
26	ダイオキシン類	1pg-TEQ 以下	0.0000057

水質の区分		放流水	
		許容限度 (1リットルあたり)	H30.8.23
1	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出せず
2	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005mg 以下	<0.0005
3	カドミウム及びその化合物	0.03mg 以下	<0.003
4	鉛及びその化合物	0.1mg 以下	<0.01
5	有機燐化合物	1mg 以下	<0.1
6	六価クロム化合物	0.5mg 以下	<0.07
7	砒素及びその化合物	0.1mg 以下	<0.01
8	シアン化合物	1mg 以下	<0.1
9	ポリ塩化ビフェニル	0.003mg 以下	<0.0005
10	トリクロロエチレン	0.3mg 以下	<0.03
11	テトラクロロエチレン	0.1mg 以下	<0.01
12	ジクロロメタン	0.2mg 以下	<0.02
13	四塩化炭素	0.02mg 以下	<0.002
14	1,2-ジクロロエタン	0.04mg 以下	<0.004
15	1,1-ジクロロエチレン	0.2mg 以下	<0.02
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg 以下	<0.04
17	1,1,1-トリクロロエタン	3mg 以下	<0.3
18	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg 以下	<0.006
19	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg 以下	<0.002
20	チウラム	0.06mg 以下	<0.006
21	シマジン	0.03mg 以下	<0.003
22	チオベンカルブ	0.2mg 以下	<0.02
23	ベンゼン	0.1mg 以下	<0.01
24	セレン及びその化合物	0.1mg 以下	<0.01
25	1,4ジオキサン	0.5mg 以下	<0.05
26	ほう素及びその化合物	230mg 以下(海域)	<1
27	ふっ素及びその化合物	15mg 以下	<0.8
28	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	200mg 以下	0.4
29	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	5mg 以下	<1
30	" (動植物油脂類)	30mg 以下	<1
31	フェノール類含有量	5mg 以下	<0.5
32	銅含有量	3mg 以下	<0.05
33	亜鉛含有量	2mg 以下	<0.05
34	溶解性鉄含有量	10mg 以下	<0.05
35	溶解性マンガン含有量	10mg 以下	<0.05
36	クロム含有量	2mg 以下	<0.1
37	大腸菌群数	1mlにつき日間3000個以下	0
38	燐含有量	16(日間8)mg 以下	<0.01
39	ダイオキシン類	10pg-TEQ 以下	0.000012

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 30 年 9 月度）

対象期間：平成 30 年 9 月 1 日 ～ 平成 30 年 9 月 30 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	172 (m ³ /月)
汚泥	2,042 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鋳さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	786 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)

計 3,000 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等				放流水	
採取場所					水質検査位置図の通り	
採取日	平成	年	月	日	平成	年 月 日
分析結果が得られた日	平成	年	月	日	平成	年 月 日
電気伝導率						
塩化物イオン濃度					排水基準値※2	結果
水素イオン濃度					5.8～8.6※3	7.0
生物化学的酸素要求量					60	—
化学的酸素要求量					90	3.0
浮遊物質					60	18
窒素含有量					120	0.7
異状の有無	有 ・ 無		有 ・ 無			
必要な措置を講じた日付とその内容※1						

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日
測定結果	7 8 9 . 2 2 6 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、エ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、エ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 9 月 3 日	平成 30 年 9 月 3 日	平成 30 年 9 月 3 日	平成 30 年 9 月 3 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 30 年 10 月度）

対象期間：平成 30 年 10 月 1 日 ～ 平成 30 年 10 月 31 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	119 (m ³ /月)
汚泥	3,912 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鉱さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	591 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
計 4,622 m ³	

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取場所		水質検査位置図の通り
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 30 年 10 月 2 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率		
塩化物イオン濃度		排水基準値※2 結果
水素イオン濃度		5.8~8.6※3 6.7
生物化学的酸素要求量		60 —
化学的酸素要求量		90 2.0
浮遊物質質量		60 10
窒素含有量		120 0.8
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた日付とその内容※1		

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 2 9 年 1 2 月 1 9 日
測定結果	7 8 9 , 2 2 6 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ヘ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ヘ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 10 月 1 日	平成 30 年 10 月 1 日	平成 30 年 10 月 1 日	平成 30 年 10 月 1 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0～9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 30 年 11 月度）

対象期間：平成 30 年 11 月 1 日 ～ 平成 30 年 11 月 30 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	110 (m ³ /月)
汚泥	3,174 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鋳さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	239 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)

計 3,523 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取場所		水質検査位置図の通り
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 30 年 11 月 14 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率		
塩化物イオン濃度		排水基準値※2 結果
水素イオン濃度		5.8~8.6※3 6.6
生物化学的酸素要求量		60 ー
化学的酸素要求量		90 1.4
浮遊物質		60 11
窒素含有量		120 1.0
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 29 年 12 月 19 日
測定結果	789,226 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 11 月 1 日	平成 30 年 11 月 1 日	平成 30 年 11 月 1 日	平成 30 年 11 月 1 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 30 年 12 月度）

対象期間：平成 30 年 12 月 1 日 ～ 平成 30 年 12 月 31 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)	
燃えがら	128	(m ³ /月)
汚泥	2,387	(m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)		(/月)
廃プラスチック類		(/月)
紙くず		(/月)
木くず		(/月)
繊維くず		(/月)
動植物性残渣		(/月)
動物系固形不要物		(/月)
ゴムくず		(/月)
金属くず		(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		(/月)
鋳さい		(/月)
がれき類		(/月)
動物のふん尿		(/月)
動物の死体		(/月)
ばいじん	233	(m ³ /月)
廃石綿等		(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)
その他()		(/月)

計 2,748 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

地下水等		放流水
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

地下水等		放流水	
採取場所		水質検査位置図の通り	
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 30 年 12 月 12 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率			
塩化物イオン濃度			排水基準値※2
水素イオン濃度			結果
生物化学的酸素要求量			5.8~8.6※3
化学的酸素要求量			60
浮遊物質			90
窒素含有量			60
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	120
必要な措置を講じた日付とその内容※1			

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 30 年 12 月 14 日
測定結果	768,505 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ト及びチ]

擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 30 年 12 月 3 日	平成 30 年 12 月 3 日	平成 30 年 12 月 3 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 31 年 1 月度）

対象期間：平成 31 年 1 月 1 日 ～ 平成 31 年 1 月 31 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	106 (m ³ /月)
汚泥	459 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鉱さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	301 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
計 866 m ³	

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びハ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びハ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 31 年 1 月 16 日 平成 年 月 日	平成 31 年 1 月 16 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びハ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びハ]

	地下水等	放流水
採取場所		水質検査位置図の通り
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 31 年 1 月 16 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率		
塩化物イオン濃度		排水基準値※2 結果
水素イオン濃度		5.8～8.6※3 6.8
生物化学的酸素要求量		60 —
化学的酸素要求量		90 2.5
浮遊物質		60 10
窒素含有量		120 1.0
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 30 年 12 月 14 日
測定結果	768,505 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 31 年 1 月 4 日	平成 31 年 1 月 4 日	平成 31 年 1 月 4 日	平成 31 年 1 月 4 日
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0～9.0

水 質 分 析 結 果 [管 理 型] (平成 31年 1月)

水質の区分		基準値 (1リットルあたり)	地下水 H31.1.16
1	アルキル水銀	検出されないこと	検出せず
2	総水銀	0.0005mg 以下	<0.0005
3	カドミウム	0.003mg 以下	<0.0003
4	鉛	0.01mg 以下	<0.001
5	六価クロム	0.05mg 以下	<0.005
6	砒素	0.01mg 以下	<0.001
7	全シアン	検出されないこと	検出せず
8	ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと	検出せず
9	トリクロロエチレン	0.01mg 以下	<0.003
10	テトラクロロエチレン	0.01mg 以下	<0.001
11	ジクロロメタン	0.02mg 以下	<0.002
12	四塩化炭素	0.002mg 以下	<0.0002
13	1,2-ジクロロエタン	0.004mg 以下	<0.0004
14	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg 以下	<0.01
15	1,2-ジクロロエチレン	0.04mg 以下	<0.004
16	1,1,1-トリクロロエタン	1mg 以下	<0.1
17	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg 以下	<0.0006
18	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg 以下	<0.0002
19	チウラム	0.006mg 以下	<0.0006
20	シマジン	0.003mg 以下	<0.0003
21	チオベンカルブ	0.02mg 以下	<0.002
22	ベンゼン	0.01mg 以下	<0.001
23	セレン	0.01mg 以下	0.001
24	1,4ジオキサン	0.05mg 以下	<0.005
25	クロロエチレン	0.002mg 以下	<0.0002
26	ダイオキシン類	1pg-TEQ 以下	0.00025

水質の区分		許容限度 (1リットルあたり)	放流水 H31.1.16
1	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出せず
2	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005mg 以下	<0.0005
3	カドミウム及びその化合物	0.03mg 以下	<0.003
4	鉛及びその化合物	0.1mg 以下	<0.01
5	有機燐化合物	1mg 以下	<0.1
6	六価クロム化合物	0.5mg 以下	0.08
7	砒素及びその化合物	0.1mg 以下	<0.01
8	シアン化合物	1mg 以下	<0.1
9	ポリ塩化ビフェニル	0.003mg 以下	<0.0005
10	トリクロロエチレン	0.3mg 以下	<0.03
11	テトラクロロエチレン	0.1mg 以下	<0.01
12	ジクロロメタン	0.2mg 以下	<0.02
13	四塩化炭素	0.02mg 以下	<0.002
14	1,2-ジクロロエタン	0.04mg 以下	<0.004
15	1,1-ジクロロエチレン	0.2mg 以下	<0.02
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg 以下	<0.04
17	1,1,1-トリクロロエタン	3mg 以下	<0.3
18	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg 以下	<0.006
19	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg 以下	<0.002
20	チウラム	0.06mg 以下	<0.006
21	シマジン	0.03mg 以下	<0.003
22	チオベンカルブ	0.2mg 以下	<0.02
23	ベンゼン	0.1mg 以下	<0.01
24	セレン及びその化合物	0.1mg 以下	<0.01
25	1,4ジオキサン	0.5mg 以下	<0.05
26	ほう素及びその化合物	230mg 以下(海域)	<1
27	ふっ素及びその化合物	15mg 以下	<0.8
28	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	200mg 以下	0.4
29	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	5mg 以下	<1
30	” (動植物油脂類)	30mg 以下	<1
31	フェノール類含有量	5mg 以下	<0.5
32	銅含有量	3mg 以下	<0.05
33	亜鉛含有量	2mg 以下	<0.05
34	溶解性鉄含有量	10mg 以下	<0.05
35	溶解性マンガン含有量	10mg 以下	<0.05
36	クロム含有量	2mg 以下	0.09
37	大腸菌群数	1mlにつき日間3000個以下	0
38	燐含有量	16(日間8)mg 以下	<0.01
39	ダイオキシン類	10pg-TEQ 以下	0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔管理型〕（平成 31 年 2 月度）

対象期間：平成 31 年 2 月 1 日 ～ 平成 31 年 2 月 28 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	180 (m ³ /月)
汚泥	3,767 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鉱さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	356 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)

計 4,303 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所		
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果		
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取場所		水質検査位置図の通り
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率		
塩化物イオン濃度		排水基準値※2
水素イオン濃度		5.8~8.6※3
生物化学的酸素要求量		60
化学的酸素要求量		90
浮遊物質質量		60
窒素含有量		120
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 30 年 12 月 14 日
測定結果	768,505 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 31 年 2 月 1 日	平成 31 年 2 月 1 日	平成 31 年 2 月 1 日	平成 31 年 2 月 1 日
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (平成 31 年 3 月度)

対象期間：平成 31 年 3 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規 12 条の 7 の 2 8 イ、規 12 条の 7 の 5 7 イ]

種類	数量(単位)
燃えがら	127 (m ³ /月)
汚泥	2,624 (m ³ /月)
廃油(タールピッチ類に限る)	(/月)
廃プラスチック類	(/月)
紙くず	(/月)
木くず	(/月)
繊維くず	(/月)
動植物性残渣	(/月)
動物系固形不要物	(/月)
ゴムくず	(/月)
金属くず	(/月)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	(/月)
鉱さい	(/月)
がれき類	(/月)
動物のふん尿	(/月)
動物の死体	(/月)
ばいじん	395 (m ³ /月)
廃石綿等	(/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)
その他()	(/月)

計 3,146 m³

水質検査の実施状況と措置(年 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	水質検査位置図の通り	水質検査位置図の通り
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙の通り	別紙の通り
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

水質検査の実施状況と措置(月 1 回測定)[規 12 条の 7 の 2 8 ニ及びホ、規 12 条の 7 の 5 7 ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取場所		水質検査位置図の通り
採取日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 31 年 3 月 13 日
分析結果が得られた日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日
電気伝導率		
塩化物イオン濃度		排水基準値※2 結果
水素イオン濃度		5.8~8.6※3 6.8
生物化学的酸素要求量		60 —
化学的酸素要求量		90 1.9
浮遊物質		60 12
窒素含有量		120 1.0
異状の有無	有 ・ 無 有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容※1		

残余容量[規 12 条の 7 の 2 8 リ、規 12 条の 7 の 5 7 リ]

測定年月日	平成 30 年 12 月 14 日
測定結果	768,505 m ³

施設の点検[規 12 条の 7 の 2 8 ロ、ハ、ト及びチ、規 12 条の 7 の 5 7 ロ、ハ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 31 年 3 月 1 日	平成 31 年 3 月 1 日	平成 31 年 3 月 1 日	平成 31 年 3 月 1 日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた年月日とその内容※1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※1 異状が認められた場合のみ記入すること。 ※2 基準値については水素イオン濃度以外 mg/L あたりの数値 ※3 海域、湖沼に放流する場合は、5.0~9.0